

平成23年度運営評価委員会 評価シート

【評定区分】

- S: 計画どおり履行した上で、日本科学未来館の基本理念等に資する新たな取組みに着手し、かつ特に優れた実績を上げている。
- A: 次のいずれかに当てはまる。
- ① 計画どおり履行している。
 - ② 計画どおり実施した上で、特に優れた実績を上げたとは言えないものの、日本科学未来館の基本理念等に資する新たな取組みに着手している。
 - ③ 計画どおり実施したとは言えないが、やむを得ない事情に起因するところが多く、次年度における成果が期待される。
(目安: 当該年度に実施すべき計画の達成度が100%以上)
- B: (やむを得ない事情を考慮しても工夫や努力が足らず) 計画どおり履行していると言えない面もあるが、十分な改善提案があり、次年度における成果が期待される。
(目安: 当該年度に実施すべき計画の達成度が70%以上100%未満)
- C: 達成度が著しく計画を下回っており、改善提案以上の業務改善が必要である。
(目安: 当該年度に実施すべき計画の達成度が70%未満)

個別評価

1. 重点対応事項

A

2. 対外戦略に関する事項

A

3. 施設運営に関する事項

S

4. 科学コミュニケーションの推進に関する事項

A

5. 科学コミュニケーターの人材の養成に関する事項

B

6. 普及展開・連携に関する事項

A

7. 展示開発に関する事項

S

8. 事業の推進に関する事項

A

9. 経営管理等に関する事項

A

総合評価

A

<参考> 各項目の詳細

1. 重点対応事項

- ①東日本大震災への対応
- ②重点活動方針(10年の方針)
- ③総来館者数
- ④来館者アンケート
- ⑤館外活動参加者数
- ⑥事業収入(入館料等収入実績)
- ⑦二酸化炭素排出量(使用エネルギー)

2. 対外戦略に関する事項

- ①危機管理広報戦略
- ②海外広報
- ③VIP・特別来館
- ④国際的ネットワーク構築
- ⑤国際科学館会議での発信
- ⑥成果の検証

3. 施設の運営に関する事項

(1) 施設利用の促進

- ①柔軟な運営計画
- ②展示等の安全・安定運用
- ③交流施設等の外部貸出
- ④テナントとの調整
- ⑤外部業者の管理監督
- ⑥緊急対応
- ⑦施設改修(震災復旧含む)

(2) ボランティア

- ①活動時間
- ②ボランティアツアー
- ③ボランティア活用方策

4. 科学コミュニケーションの推進に関する事項

- ①科学コミュニケーション活動、イベント等
- ②活動状況や体験者の反応の把握
- ③実験工房の運用
- ④時宜を捉えた科学コミュニケーションの実施
- ⑤科学コミュニケーターの活動状況の把握
- ⑥新たなメディアの活用

5. 科学コミュニケーターの人材養成に関する事項

- ①計画的な人材養成の推進
- ②研修プログラムの実施
- ③情報発信

6. 普及展開・連携に関する事項

- ①学校、科学館等のコーディネート
- ②学校連携活動
- ③実績の把握
- ④研究者や技術者との連携
- ⑤先進的科学館連携推進(採択)
- ⑥先進的科学館連携推進(評価)
- ⑦先進的科学館連携推進(情報発信)
- ⑧「展示活動報告書」の作成

7. 展示開発に関する事項

- ①展示の開発
- ②成果の検証
- ③展示手法のアーカイブ

8. 事業推進に関する事項

(1) 広報・マーケティング

- ①メディア取材件数
- ②ホームページ等の運用
- ③情報発信ツール
- ④来館者アンケート等

(2) 友の会

- ①友の会会員数
- ②満足度調査

(3) パートナーシップ・産業界との連携

- ①パートナーシップ制度の運用

(4) 利用促進

- ①団体利用者等の誘致活動
- ②近隣地域との連携

(5) 企画展示ゾーン等の活用

- ①企画展示ゾーン等の活用

9. 経営管理等に関する事項

- ①戦略的経営課題等への対応
- ②セルフモニタリングの実施
- ③適切な予算執行管理
- ④ITインフラの維持管理
- ⑤情報セキュリティへの取り組み
- ⑥人材確保と職員研修
- ⑦研究棟施設の管理